

部品表修正の決定版 Bom Correction Macro

部品表修正マクロ

Ver.1.0
販売促進版

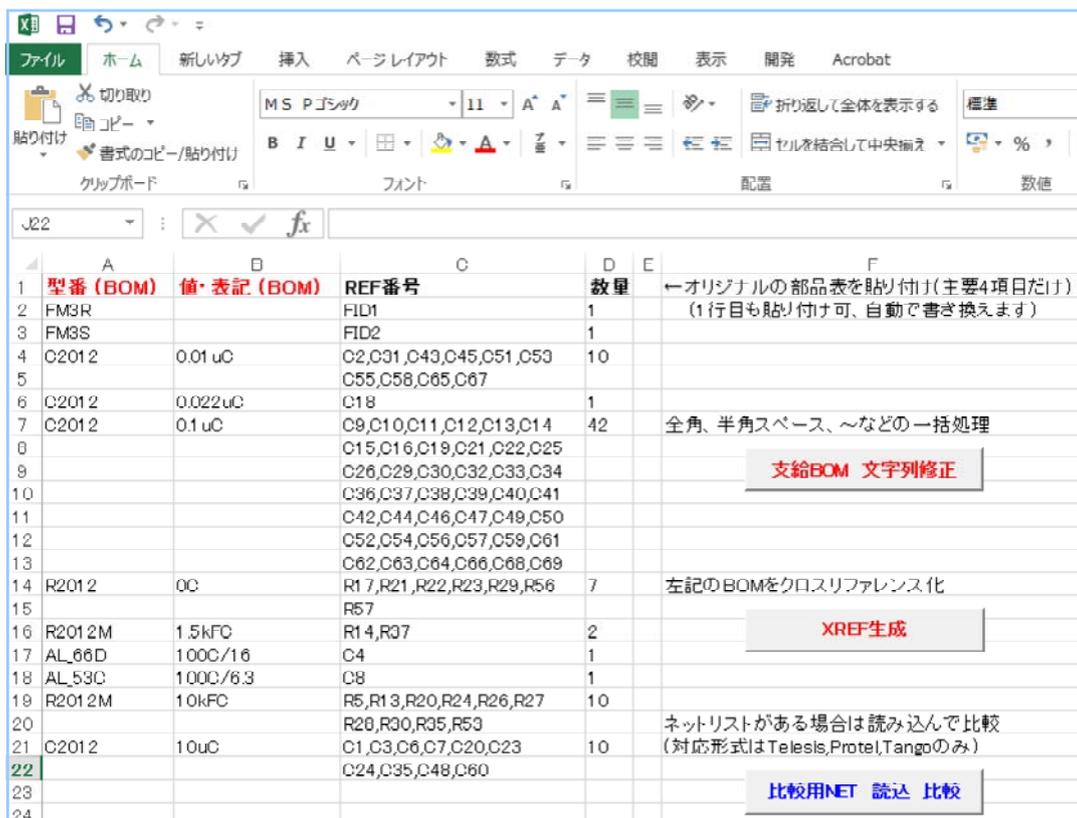
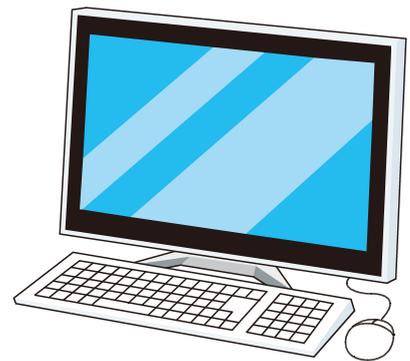
Windows10/8.1/8/7 対応 Excel2007,2010,2013,2016対応

急な部品表変更にもすばやく対応!

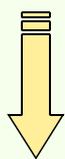
ペースト
部品表を貼り付けるだけ

修正変換処理
最小限の操作で修正

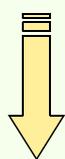
ネットリスト読み込み
両項目のチェックが可能



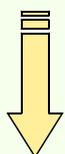
	A	B	C	D	E	F
1	型番 (BOM)	値・表記 (BOM)	REF番号	数量		←オリジナルの部品表を貼り付け(主要4項目だけ) (1行目も貼り付け可、自動で書き換えます)
2	FM3R		F1D1	1		
3	FM3S		F1D2	1		
4	C2012	0.01 uC	C2,C31,C43,C45,C51,C53 C55,C58,C65,C67	10		
5			C18	1		
6	C2012	0.022uC				
7	C2012	0.1uC	C9,C10,C11,C12,C13,C14 C15,C16,C19,C21,C22,C25 C26,C29,C30,C32,C33,C34 C36,C37,C38,C39,C40,C41 C42,C44,C46,C47,C48,C50 C52,C54,C56,C57,C58,C61 C62,C63,C64,C66,C68,C69	42		全角、半角スペース、~などの一括処理
8						
9						支給BOM 文字列修正
10						
11						
12						
13						
14	R2012	0C	R17,R21,R22,R23,R29,R56 R57	7		左記のBOMをクロスリファレンス化
15						
16	R2012M	1.5kFC	R14,R37	2		XREF生成
17	AL_66D	100C/16	C4	1		
18	AL_53C	100C/6.3	C8	1		
19	R2012M	10kFC	R5,R13,R20,R24,R26,R27 R28,R30,R35,R53	10		ネットリストがある場合は読み込んで比較 (対応形式はTelesis,Protel,Tangoのみ)
20						
21	C2012	10uC	C1,C3,C6,C7,C20,C23 C24,C35,C48,C60	10		
22						比較用NET 読込 比較
23						
24						

STEP 1**部品表を貼り付ける**

REFDES	→	REF 番号
Reference		
Component	→	型番
Footprint		
Comment	→	値・表記

STEP 2**文字列を修正する**

C1 ~ 4,C5,C8
↓
C1,C2,C3,C4,C5,C8

STEP 3**クロスリファレンス化**

REF 番号	型番 (BOM)
C1	C2012
C2	C2012
C3	C1608
C4	C1608
C5	C1005

STEP 4**ネットリストの読み込み**

型番 (BOM)	型番 (NET)
C2012	C2012
C2012	C2012
C1608	C1608
C1608	C1608
C1005	⇔ C1608

POINT1 項目別に貼り付け

部品表の項目名は回路図CADや会社で異なるので全体ではなく項目別に内容だけを貼り付けます。
(実際には項目名が変化しても最終的にはプログラムで書き換えてくれます。)

PDFで支給されている場合は直接ではなく、一旦Wordに貼り付けた後でペーストすると上手くいきます。

POINT2 全角の文字列を修正

全角の文字列を半角に、半角のスペースの削除、R1~R3などの省略した表記を通常の個別表記に変更します。
大規模な部品表で再度、修正されたBOMを受け取った場合に、再度修正する手作業が発生していました。
その手間が無くなり自動処理するのでミスが減ります。

POINT3 REF番号でXREF化

他のデータとの比較のために部品表をREF番号を基準にクロスリファレンス形式で表示します。

これは前処理で、具体的には次項のネットリストと比較することになります。

POINT4 比較ネットの読み込み

Telesis、Protel、Tango形式に対応しています。
上記フォーマットは自動で認識し読み込みます。

そのデータを部品表から作成したクロスリファレンスのそれぞれの欄の横に自動配置して比較します。
ネットリストに対応するREF番号が存在しない場合は該当する項目のセルには<None>と表示されます。

当バージョンでは自動で比較して色分けする機能は未搭載です。

製品版ではその機能を搭載しています。

用途

■ 基板設計会社

パターン設計時の部品表チェックに利用

部品表はフットプリントを作成する作業の基準となる型番で支給されるネットリストよりもその記載内容が最優先されます。

しかし、自動処理ではなく部分的に手修正され、記載ミスがある場合があります。

大規模な回路図にて再度、部品表を修正された場合にも短時間で対応が可能です。

■ 回路設計会社

回路図の出図前の検図作業として利用

回路設計CADから出力されたものを自動処理した場合は問題はないのですが手修正すると記載ミスが発生したまま基板設計会社に提出することになります。

それを自動で見つけ修正してくれます。

■ 部品実装会社

部品実装時に利用

基板設計CADから出力されたピックアンドプレースファイルは部品の型番ではなく、フットプリント名で出力されています。

そのフットプリント名をREF番号基準で正式な部品名に差し替える必要があります。

また、パターン設計受注時の情報で最新情報の部品名ではない場合もあるので必ず修正(差し替え)が必要になります。

その基準となる部品表にて記載ミスや読みにくさがあれば修正が必要となります。

※ 部品実装会社向けにPnPファイル入力対応の「PCM」というExcelマクロもあります。

仕様

Windows10/8.1/8/7 対応

Excel2007,2010,2013,2016にて動作

- Windows、Excelは米国マイクロソフト社の登録商標です。
- 商品の仕様やデザインは予告無く変更することがあります。
- 内容は2019年1月現在のものです。

価格

販売価格： 販売促進版につき無料

入手形態： ダウンロード

http://www5b.biglobe.ne.jp/~sophil/UPLOAD/BCM_V1.0.zip

サポート： 簡単な内容のみ下記メールで対応

販売

<販売元>

基板設計&企画

株式会社チェダークリーク

〒215-0022

神奈川県川崎市麻生区下麻生2-5-38

TEL: 044-387-6377

<開発元>

ソフトウェア開発

SOPHIL

問い合わせメールアドレス

sophil@mug.biglobe.ne.jp